



第43号

港北区スポーツ推進委員
連絡協議会広報紙

活き生き体指

KOHOKU

No.43

平成24年3月31日発行

発行者

港北区スポーツ推進委員連絡協議会

編集

港北区スポーツ推進委員広報委員会

事務局

横浜市港北区大豆戸町26-1

横浜市港北区役所地域振興課内

☎ 045-540-2241

FAX 045-540-2245

第27回港北駅伝大会 平成24年1月8日実施



孤独ゆえの絆

太尾連合チーフコーチ 木村 洋

あらためて記録を見ると、綱島Sチームは全選手が区間上位の力走で、素晴らしいチームであったと敬服します。しかしこの場では、そのチームに辛くも勝利し、王座奪還した太尾連合を誇らせてください。昨年、11連覇を阻止され、主要なメンバーが集まって「2年連続負けたら、本当の負け」と話し合ったときから、われわれの27回港北駅伝は始まりました。

「もう一度、みんなでランニングを楽しもう」と、春からさまざまな陸上大会に出場したことが、人材の発掘のチャンスにもなりました。7区をまかせた2人は本気で走るおじさんたちを助けに来てくれた若手です。最大の勝因とも言える6区、9区の女性2人を含め、彼らは小学生時代に連合町会駅伝メンバーだった子供たちでもあります。

今年のチームはオヤジメンバーの意欲に太尾の伝統と歴史が融合してできあがったチームです。Aチームが優勝しましたが、11月からともに練習した小学生たち全員を含めて、3チーム合せての「優勝チーム」であると強調させていただきます。

陸上は個人競技です。駅伝であっても個人競技の積み重ねがタスキを繋いでいきます。しかしながらランナーのあいだには団体競技にはない強い連帯感が生まれます。それは苦しければ苦しいほど、仲間も同じ苦しさを乗り越えてきたとわかるからです。仲間だけではなく、競い合う相手に対しても同じです。

勝利を目指して競い合うことで敬意を表する。太尾連合はその信念で来年も勝利に向かって走っていきたいと思います。

第27回港北駅伝大会 大会結果

部門	連合町内会の部	一般男子の部	一般男子の部	一般(高校)女子の部	中学男子の部	中学女子の部
距離	22km	21km			16km	
区間	9区間	6	区	間	6	区
1位	太尾連合A 1:24'26"	Fukase走友会B 1:13'24"	横浜高校A 1:10'01"	白鷺女子高等学校B 1:16'17"	大綱中陸上部A 57'47"	樽町中陸上部女子A 1:04'50"
2位	綱島連合Sチーム 1:25'29"	横浜ウイングA 1:14'45"	鶴見高校A 1:10'11"	白鷺女子高等学校A 1:18'31"	桐蔭学園中学校 58'54"	大綱中陸上部C 1:07'25"
3位	太尾連合B 1:30'23"	慶大同等きちゃん 1:17'52"	桐蔭学園高校A 1:12'12"	鶴見高校 1:27'43"	神中男子陸上部A 59'27"	神中女子陸上部 1:12'29"
4位	新羽さわやか 1:31'16"	慶大同等okopedia 1:17'55"	横浜商大高校 1:12'41"	日大高校 1:28'49"	日大中陸上部A 59'55"	樽町中陸上部女子B 1:13'41"
5位	綱島連合Aチーム 1:31'55"	帰って来た軍団タテオ 1:18'02"	横浜高校C 1:13'36"	川崎市立橋高等学校 1:28'57"	篠原中陸上競技部A 1:02'04"	大綱中陸上部D 1:14'22"
6位	太尾連合C 1:35'39"	SUIRAN-R 1:19'27"	川崎市立橋高等学校 1:13'46"	県立元石川高校 1:33'58"	高田中陸上競技部 1:02'05"	日大中陸上部 1:14'24"



▲太尾連合チームの皆さん

第27回港北駅伝大会 中学の部女子優勝によせて

今回の大会は5連覇がかかっていました。3年前の記念大会でいただいた優勝カップをどの学校にも渡していなかったのが、今回も女子だけは持ち帰ろうという思いで大会に臨みました。

通常中学校の駅伝大会では、女子は5区間で行われます。この駅伝は6区間で区間が多いことと、距離も長いことが区間配置を非常に難しくさせます。特に1区と4区の4kmという距離は、中学校の女子ではほとんど走ったことのない距離になります。

まずは、6人しっかり走れる選手をそろえ、なおかつ、4kmをしっかり走れる選手を2人選ばなければなりません。ほとんど選手選考で勝敗が決まる駅伝大会でもあると思います。

展開としては、1区から3区で先頭に立ち、4区で引き離し逃げ切る作戦を考えていました。11時30分、スタートの号砲がなりました。はじめは大きな不安がありましたが、だんだんと予想通りの展開になり5区あたりでは、もう大丈夫だろうという安心に変わりました。特に1区の選手は、2年生で力をつけており、その勢いがその後の選手にも勢いを与えてくれました。最終6区では2位との差を1分以上離し優勝のゴールテープを切ることができました。

横浜市立樽町中学校 陸上競技部顧問 登内 将史

この大会は、町内会の部もあることから、中学校の学区の町内会も参加しています。選手の親や小学校の時の知り合いなど、地域と一緒に駅伝大会ができることも魅力の一つです。また、樽町地区町内会からは、毎年豚汁などの差し入れをいただいています。

同じ地域にある中学校の陸上部が頑張っていることを見せることによって、いつも支えてくださる地域の方に少しでも感謝の気持ちをあらわせたらと思っています。

今後もこの駅伝大会の女子連覇に向けて頑張るとともに、その他の大会でも結果を残せるように練習していきたいと思っています。



▲中学女子優勝チーム

区間記録

区間	距離(km)	1位			2位			3位		
		氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録	氏名	チーム名	記録
1区	4	服部 文祥	太尾連合 A	15'15"	吉野 文章	大曾根 A	15'51"	土井 利幸	網島連合 S チーム	15'52"
2区	1	早川 七海	網島連合 A チーム	4'28"	成瀬 舞	網島連合 S チーム	4'31"	本田 夏夕	大曾根 A	4'49"
3区	1	原口 凜	高田 A	3'49"	菊地 康平	網島連合 S チーム	3'59"	横山 葵一	菊名地区連合町内会	3'59"
4区	4	遠藤 力	太尾連合 A	14'33"	池上 修	網島連合 S チーム	14'37"	大高 一彰	新羽さわやか	15'01"
5区	1	竹内 佑吾	菊名地区連合町内会	4'20"	秋葉 航成	網島連合 S チーム	4'32"	末吉 保稀	網島連合 B チーム	4'34"
6区	3	砂川 紗英	太尾連合 A	11'21"	岩岡 千尋	あすなろ連合町会	11'51"	新地 珠美	網島連合 S チーム	12'29"
7区	4	新田 龍宏	網島連合 S チーム	13'39"	有賀 裕亮	太尾連合 A	13'40"	松平 伊織	太尾連合 B	14'26"
8区	1	新地 歩果	網島連合 A チーム	4'01"	柳下 香	太尾連合 B	4'12"	古閑 瑞菜	網島連合 S チーム	4'15"
9区	3	柳下 栞	太尾連合 A	11'15"	岡崎 綾乃	新羽さわやか	11'26"	山端百合恵	網島連合 S チーム	11'35"

区間賞の方々

個人の区間賞はともかく



優勝を奪われた「まさか」というショックを、木村チーフコーチの声かけで立て直し、出場した主な大会は、横浜駅伝、旭区と港北区の陸上競技会、リレーマラソンなどなど。40をとうに過ぎたおっさんが「かけっこしようぜ」を合い言葉に、学生や若手ランナーに

小学生最後の駅伝大会



僕は、3年生の時に町内会のチームに入りました。そこからずっとこの大会に出て、なかなか区間賞をとることができませんでした。やっと今回の駅

10年以上も同じチームで



これまで1区、7区と走り、気がつけば4区を任される年齢になりました。10年以上も同じチームで走り続けることができたのは、それだけでも貴重な経験です。しかも今年は昨年奪われた王座を奪還するという強い目的意識を

太尾連合Aチーム 1区(4km) 服部 文祥

混ざって、自己ベストや勝利を目指しました。特に太尾連合の仲間とその息子(+同級生)、大曾根連合のY君や会社の同僚など16歳から42歳までの寄せ集めチームで参加した6時間耐久レースは忘れがたい思い出です。区間賞をいただきましたがタイムが悪く納得していません。今年は地元大綱中学陸上部との合同練習も企画されており、中学生とかけっこするのが楽しみです。

高田Aチーム 3区(1km) 原口 凜

伝で区間賞をとることができて、とてもうれしかったです。休まず練習をがんばってきたから良い結果が出せたと思います。中学生になってもがんばっていきたくです。

太尾連合Aチーム 4区(3km) 遠藤 力

持って挑んだ、これまでとはまったく違う大会でした。優勝や区間賞はもちろん、そこにいたる過程までも存分に楽しめた駅伝でした。本当にみんなよく走った、楽しかったというのが、私の正直な感想です。来年もまた他の町会と楽しく競えるよう、町会の仲間とゆっくり走り始めたいと思います。

第25回 港北区 グラウンドゴルフ大会

平成24年3月4日 実施

優勝がうれしい

綱島地区 小田原 敏秋

3月4日は朝から寒く、曇り空の下、第25回グラウンドゴルフ大会が行われました。朝早くから区役所の方、スポーツ推進委員の方々にグラウンドの整備や準備をしていただき、一日楽しくプレーすることが出来、有難うございました。今回抽選で多くのチームが落選し出場出来ないと聞き、その人達の方も頑張ろうと思い競技に臨みました。年1回のこの大会を目指して日ごろから練習して出場しているチームが多く有ると聞きます。自分達のチームの為に綱島地区の人達、TCCの人達のサポート、応援が有って今回優勝が出来たと思います、有難うございます。今大会で綱島地区が、3連覇することが出来ました、おまけにチーム優勝も出来、チームの人達と喜び合いました。区役所の方、スポーツ推進委員の方々寒い中、心より有難うございました。来年も出場出来ればと思います。



▲地区優勝チーム 綱島

ハイスコア賞を手にして

綱島-Aチーム 高杉マサ子

3月4日に行われましたグラウンドゴルフ大会で、私は予想もつかない夢の又夢であるハイスコア賞を頂く事が出来ました。まさに奇跡だったとしかいいようがありません。本当にありがとうございました。

閉会式で名前を呼ばれた時には間違いじゃないのかしらと信じられなく一瞬、頭が真っ白になり辺りを見回してしまいました。夢ではなく現実だったのです。

プレーが始まる前にチームの足をひっぱらないようにと、クラブとボールに「よろしくお願ひします」と心の中で手を合わせました。最初の第1打8番ホールでまさかのホールインワンが出たのです。それからは今まで張りつめていた気持ちがスーッと楽になり、ゆったりした気持ちでプレーする事が出来ました。終わってみればそれが勝因につながったのかと思います。

私がハイスコア賞を頂く事が出来たのも、私一人の力ではありません。毎週日曜日の練習時に、一緒にグラウンドゴルフをやっている会員の皆様のアドバイスが有った事と、心から感謝いたします。

このような素晴らしい賞を頂いた事で、これを励みに体力作りに仲間作りにと精進し、これからも楽しくグラウンドゴルフを続けて行きたいと思ひます。本当にありがとうございました。

グラウンドゴルフ大会結果

★地区対抗成績			
優 勝		綱島地区	542
準 優 勝		新吉田地区	549
3 位		樽町地区	552
★チーム対抗成績			
優 勝		綱島-A	259
準 優 勝		TCC-B	263
3 位		親友クラブA	268
★男性ハイスコア			
キクナA		池田 兼徳	35
★女性ハイスコア			
綱島-A		高杉マサ子	38
★ブービー賞			
師岡A		谷田喜代子	67
★ホールインワン賞			
新吉田町会		荻原 芳夫	
太尾西町会		矢次 司	
小机堀崎町		市川スミエ	
太尾西町A		磯崎 登	
綱島-A		高杉マサ子	
キクナA		池田 兼徳	
琵琶畑Aチーム		田中志津江	
矢ノ根B		岸 トメ子	
箕輪Aチーム		清水 一彬	



▲ハイスコア 高杉さん

平成23年度 港北区スポーツ推進委員大会 平成24年1月22日 実施

25年を振り返って

平成23年度横浜市スポーツ推進委員大会において、25年表彰をいただきました。有難うございます。26年前は、早朝野球、ソフトボールなどをやっていた。娘が小学生の時にミニバスケットをやっていたので、親バカで試合のたびに何処までも応援に行っていました。ある日先生から、よかったらお手伝いをしてみませんかと言われ、娘が卒業した後も、子供たちのコーチとしてお手伝いをしていました。その頃、体育指導委員に欠員が出来たからと言われ、受けてしまいました。当時の日吉地区の会長は堀越さんでした。堀越さんは温厚かつ厳しい偉大な人で体育指導委員魂をうち込まれました。

私も前会長にあやかり少しでも頑張りたいと思っています。

地区の行事としては、健民祭の立案、企画、運営、グラウンドゴルフ、ペタンク、運動会、盆踊り、祭礼、

日吉地区スポーツ推進委員連絡協議会 会長 吉原 直

地区センター子供祭のもちつき、インディアカなどです。これからも幾年続かわかりませんが、港北区、地域のために精一杯活動する決意です。



▲表彰者の皆さん

区分	表彰者氏名
10年表彰	川島 博 (城 郷)・小松 賢吉 (新 羽)
	小田 美代子 (日 吉)・喜田 賢次 (日 吉)
15年表彰	小川 良枝 (綱 島)・横溝 憲治 (樽 町)
	中村 周一 (師 岡)・永井 元雄 (新吉田)
	岩間 秀次 (新吉田)
20年表彰	薄井 久子 (日 吉)・田中 照久 (篠 原)
25年表彰	吉原 直 (日 吉)

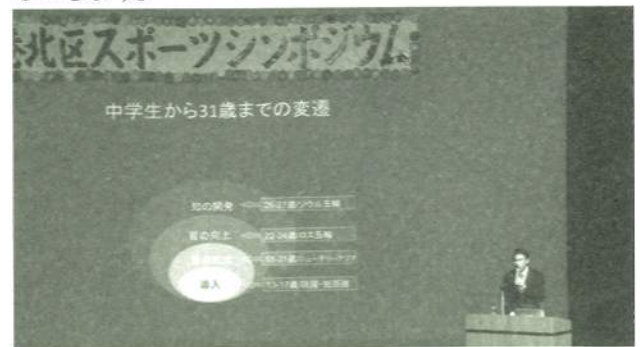
平成23年度 港北区スポーツシンポジウム 平成24年2月19日 実施

指導者から生まれた競技人生

綱島地区スポーツ推進委員 人見 昇

今回陸上競技400m日本記録保持者、高野進さんの講演会に参加させていただき、貴重な体験談を聞く事ができました。高野さんは最初に、「私の競技人生は指導者から生まれてきたものです」と語り始め、中学から高校時代の陸上の思い出をお話ししてくれました。中高時代とも先生の指示に従い自分の得意な走る競技ではなく、走り幅跳び等の跳躍系の種目に取り組み、自慢の脚を失った事、高校時代は棒高跳びという競走競技とは全く違う技術種目に挑戦していた事など、私達が余り知らない競技者としての軌跡、エピソードを淡淡と話してくれました。そして最後には自分では望んでもいなかった他の競技と比べて想像を絶する程の過酷な種目400m競技挑戦の事を語ってくれました。高野さんは、強い精神力とあきらめない気持ち、何度挫折しても走り続ける信念を持ち、オリンピック出場の栄冠をつかんでいます。そして「動いて、考えて、また動く」という高野さん独自の理念とモチベーショ

ンを保ちながらオリンピック3大会連続出場を果たしています。これからは世界の頂点を目指す選手を育ててくれる事を期待したいと思います。最後に、20年近く破られていない400mの日本記録44秒78が更新された時、私はきっと高野さんの講演の事を思い浮かべられるでしょう。



▲講演・高野 進さん

編集後記

第28期(平成23・24年度)の広報委員長を担当して早1年が過ぎ去ろうとしています。今年度の主な事業は、昨年6月の港北区体指新任者研修会にはじまり、2月の港北区スポーツシンポジウムおよび3月の港北区グラウンドゴルフ大会で終了します。今年度のビッグニュースは、第42号「活き生き体指」にてご紹介しましたが、「スポーツ振興法」の全部改正により「スポーツ基本法」が施行され、これに伴い「体育指導委員」の名称が「スポーツ推進委員」に変更された事です。活動内容に大きな変更はありませんが、引き続き各地域の行事を通じて、地域の交流、スポーツ・レクリエーションの振興を推進し、地域の皆様の絆がより深まればと思っております。

広報委員長 小宮山 富夫